

Geotechnical Forum 2026

地盤技術フォーラム 2026

Soil and Groundwater Remediation Technology Expo

土壌・地下水浄化技術展

環境にやさしい浄化技術、企業活動と自然の共生をめざして

PFAS対策ゾーン PFAS countermeasure technologies Zone

Ground Improvement Technology Expo

地盤改良技術展

地盤改良技術・工法に関わる、ビジネスマッチングと事業拡大の促進を目指して

Foundation Engineering Expo

基礎工技術展

建築、道路・港湾・鉄道構造物、産業施設などインフラを支える基礎工の技術・工法および周辺技術を一堂に

後援：国土交通省、環境省、国立研究開発法人建築研究所、国立研究開発法人土木研究所、独立行政法人水資源機構

協賛：(公財)日本環境協会、(一財)国土地盤情報センター、(一財)日本ダム協会、(一財)ベターリビング、(公社)化学工学会、(公社)環境科学会、(公社)地盤工学会、(公社)土木学会、(公社)日本港湾協会、(公社)日本水道協会、(公社)日本地下水学会、(公社)日本地すべり学会、(公社)日本水環境学会、(一社)コンクリートパイル・ボール協会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)セメント協会、(一社)全国地質調査協会連合会、(一社)全日本建設技術協会、(一社)土地改良建設協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)日本汚染土壌処理業協会、(一社)日本環境化学会、(一社)日本基礎建設協会、(一社)日本建築学会、(一社)日本建設業連合会、(一社)日本潜水協会、(一社)日本地質学会、(一社)日本土壌肥料学会、(一社)廃棄物資源循環学会、地中連続壁協会、(一社)建築基礎・地盤技術高度化推進協議会

主な出展内容

(一部予定)

土壌・地下水浄化技術展

●分析 ●調査・コンサルタント ●処理システム(重金属・汚泥水など) ●浄化技術・機器 ●その他情報関連

新設 PFAS対策ゾーン

●測定・分析 ●除去・浄化技術 ●分解・無害化技術 ●代替材料・技術 ほか

地盤改良技術展

●各種地盤改良工法(固化[深層・中層・浅層]、締固め、圧密促進・排水、薬液注入、荷重低減 等) ●液化化防止工法 ●ICTを活用した施工機械、周辺機器、管理装置 ●材料(セメント、スラグ、薬剤、新材料、リサイクル材 等)

基礎工技術展

●各種基礎工法(杭基礎(既製コンクリート杭、鋼管杭、場所打ちコンクリート杭 等)、ケーソン、鋼管矢板、地中連続壁 等) ●杭頭関連技術 ●各種地下工法(山留め・土留め、既存杭撤去、立坑 等) ●地盤調査技術(ボーリング技術、サンプリング技術、原位置試験技術 等) ●ICTを活用した施工機械(土工機械、基礎工事機械 等) ●戸建て住宅に関する地盤調査・補強技術

地盤技術フォーラム 2026

見学には来場事前登録が必要です。

公式Webサイトから来場事前登録の上 来場者証をプリントアウトして、ご持参ください。



STEP
1



公式Webサイトにアクセス
“来場事前登録”より登録してください

※来場者証は会期中通してご使用いただけます。

STEP
2



来場者証をプリントアウト
来場者証をプリントアウトして
会場に持参してください

STEP
3



入場
当日は、来場者証をご持参の上、ご来場ください

ご案内状

※本状ではご入場いただけません。

入場無料

事前登録制

2026年
9月16日(水)～18日(金)
東京ビッグサイト 10:00～17:00

東2ホール

主催：産経新聞社
一般社団法人土壌環境センター(土壌・地下水浄化技術展)
共催：基礎工 月刊「基礎工」(株式会社総合土木研究所)
パイルフォーラム株式会社
オーガナイザー／展示会事務局：
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3-4F
(株)シー・エス・ティ TEL. 03-5297-8855 E-mail: info2026@sgrte.jp

<https://www.sgrte.jp>

<本フォーラムにおける認定プログラム> 全国土木施工管理技士会連合会認定CPDSプログラム(各日2ユニット)
土木学会CPDプログラム(各日2単位)※最低滞在時間2時間が条件

東1-3ホール同時開催展

※本展来場者は下記の同時開催展も
入場可能となります。

JIMA2026【第13回総合検査機器展】

製造業を主とした検査・計測・試験・評価・保守に関する専門展示会

主催：一般社団法人日本検査機器工業会 特別協力：産経新聞社

INTERMEASURE2026【第32回計量計測展】

計量計測業界、最大規模。世界の最先端技術が一堂に集まる総合展示会

主催：一般社団法人日本計量機器工業連合会 特別協力：産経新聞社

SENSOR EXPO JAPAN 2026

DX社会の未来を拓く「センシング技術」と「制御」。その基盤となる先進デバイス・コンポーネントと応用システムの専門展示会

主催：産経新聞社 特別協賛：一般社団法人次世代センサ協議会

FORESTRISE 2026【第5回次世代森林産業展】

林業イノベーションが集まる展示会

主催：産経新聞社

2026知財・情報フェア&コンファレンス

特許・実用新案に加えて、意匠・商標などにも対象を広げた知的財産の総合展

主催：一般社団法人発明推進協会、一般財団法人日本特許情報機構、産経新聞社

出展者一覧

／：共同出展社 (50音順・7月10日現在)

青山機工(株)	●	(株)トーマック	●
旭化成建材(株)	●	(一社)土壌環境センター	●
礎オメガ工法協会	●	飛島建設(株)	●
WILL工法協会	●	(株)トラバース	●
(株)ウエリントラボラトリーズジャパン	●	日東精工アナリテック(株)	●
宇部マテリアルズ(株)	●	日特建設(株)	●
(株)エステック	●	日邦電機(株)	●
(株)エマルションフローテクノロジーズ	●	日本基礎技術(株)	●
MNADコンソーシアム	●	(一社)日本基礎建設協会	●
(株)エンパイオ・エンジニアリング	●	日本コンクリート工業(株)	●
(株)オーク	●	日本車輛製造(株)	●
(株)大林組	●	日本ヒューム(株)	●
(株)奥村組	●	根本企画工業(株)	●
(株)加藤建設	●	パイルネット工法協会	●
環境パイル(S)工法協会	●	パイルフォーラム(株)	●
岩水開発(株)	●	パワーブレンダー工法協会	●
(株)熊谷組	●	(株)ハンシン建設	●
(株)クリアライズ	●	PTFE処理防塵固化材協会	●
栗田工業	●	PFAS対策技術コンソーシアム	●
／ランドソリューション	●	PFAS Total Solutions (PFASOL)	●
ケミカルグラウト(株)	●	ヒロセ補強土(株)	●
(株)鴻池組	●	(株)ファーストラボ	●
国際航業(株)	●	複合噴射攪拌協会	●
三信建設工業(株)	●	(株)不動テトラ	●
GIコラム研究会	●	(株)マツポー	●
(株)JES	●	マルチドリル工法協会	●
JFEシビル(株)	●	三浦工業(株) 三浦環境科学研究所	●
／(株)KANSOテクノス	●	三谷セキサン(株)	●
JFEスチール(株)	●	室町ケミカル(株)	●
／JFE建材(株)	●	ユーロフィン日本環境(株)	●
JFEテクノリサーチ(株)	●	横浜ライト工業(株)	●
JFEミネラル(株)	●	(株)横山基礎工事	●
ジオテツ工法研究会 協同組合Masters	●	(株)流機エンジニアリング	●
(株)地盤試験所	●	レジェンドパイプ工法協会	●
地盤注入開発機構	●	レフィクシア(株)	●
清水建設(株)	●	(株)ワイビーエム	●
ジャパン・トゥエンティワン(株)	●		
ジャパンパイル(株)	●		
積水化学工業(株)	●		
(一社)セメント協会	●		
ソイルメックジャパン(株)	●		
(株)総合土木研究所	●		
大成建設(株)	●		
(株)タケウチ建設	●		
(株)立花マテリアル	●		
／近江機工(株)	●		
(株)地圏環境テクノロジー	●		
テクニカ合同(株)	●		
テクノモリオカ(株)	●		
東興ジオテック(株)	●		
東設土木コンサルタント	●		

出展詳細はWebで!

出展製品のご案内等の詳細は、
Webサイトに公開しております。

www.sgrte.jp

製品・技術発表会

聴講無料

出展者による、新製品・技術等のプレゼンテーション

【会場】東2ホール内 セミナー会場G1

【定員】50席(当日受付、総入替制) 直接会場へお越しください。

9月16日(水)	
11:15 11:45	PFAS対策ゾーン C-ICによるPFASスクリーニング分析 日東精工アナリテック(株)
12:00 12:30	PFAS対策ゾーン 地下水と汚染物質の流動を可視化する新技術 ジャパン・トゥエンティワン(株)
13:00 13:30	PFAS対策ゾーン 河川水・地下水汚染物質の挙動の見える化 (株)地圏環境テクノロジー
13:45 14:15	基礎工技術展 杭引抜き後の埋戻し「NALT工法」 横浜ライト工業(株)
14:30 15:00	基礎工技術展 LRTK：スマホ測量・3D点群・AR投影 レフィクシア(株)
15:15 15:45	地盤改良技術展 地質調査の新時代：安全とスマートの新基準 (株)ワイビーエム

9月17日(木)	
11:15 11:45	地盤改良技術展 不動テトラの地盤改良技術 (株)不動テトラ
12:00 12:30	地盤改良技術展 全方位高圧噴射攪拌工法「MJS工法」 東興ジオテック(株)
13:00 13:30	土壌・地下水浄化技術展 PFAS対策ゾーン 国内事例を踏まえたPFAS対応と実践技術 国際航業(株)
13:45 14:15	地盤改良技術展 複合噴射攪拌システム リングジェット工法／HCM工法 複合噴射攪拌協会
14:30 15:00	地盤改良技術展 ICT施工で変わる、地盤改良工事の最前線 日特建設(株)
15:15 15:45	地盤改良技術展 Will-i工法の新たな取り組み WILL工法協会

9月18日(金)	
11:15 11:45	土壌・地下水浄化技術展 コンクリーション化技術(自己修復性)を用いた、 簡易な土壌汚染対策について 積水化学工業(株)
12:00 12:30	地盤改良技術展 小型機械攪拌複合噴射で大口径化HCM工法 三信建設工業(株)
13:00 13:30	基礎工技術展 急峻な現場でも省スペース施工を実現する杭工法 ヒロセ補強土(株)
13:45 14:15	基礎工技術展 オールケーシング工法における自動化技術 (株)ハンシン建設
14:30 15:00	基礎工技術展 AC-DASH工法について (株)オーク
15:15 15:45	基礎工技術展 音響トモグラフィ地盤調査技術の概要と調査 JFEシビル(株)／(株)KANSOテクノス

「Eight Days of PFAS in Japan + one」

PFAS対策技術コンソーシアムが、地盤技術フォーラムでの講演・展示会場での海外専門家との個別商談会開催等を筆頭に、9月16日～9月24日までPFAS専門家との国際交流イベントを継続的に実施いたします。
地盤技術フォーラム会期中のイベントだけでなく、9月20日～24日にかけてのイベントについても地盤技術フォーラムHPよりお申込みを受け付け予定です。
詳細プログラムは、下記URLにて更新いたしますので、ぜひご確認ください。

<https://www.sgrte.jp/pfas>

問い合わせ先

PFAS対策技術コンソーシアム事務局 pfas.info@campuscreate.com

（プログラムはやむを得ず変更になることがあります。最新情報はWebサイトでご確認ください。） ※状況によりリモート講演となる場合がございます。

9月16日(水)

午前

G2-1 基調講演【土壌・地下水浄化技術展】

聴講無料
事前申込制

10:15～11:00

東2ホール内 セミナー会場 G2

土壌汚染対策法の概要、施行状況と土壌環境行政の最新動向

環境省 水・大気環境局環境管理課 環境汚染対策室

土壌汚染対策法の施行状況、2019年4月の改正法の全面施行から5年が経過したことを踏まえた点検の状況など、土壌環境行政の最新動向について御説明します。

午前

G2-2 基調講演【地盤改良技術展、基礎工技術展】

聴講無料
事前申込制

11:30～12:30

東2ホール内 セミナー会場 G2

建築基礎構造の最近の話題 ～基礎-地盤に求められるもの～

千葉工業大学 創造工学部建築学科 鈴木 比呂子 氏

能登半島地震では地盤-基礎に起因する被害も発生しました。上部構造物と同様に基礎にも部材が損傷しても大きな被害に繋がらない冗長性が求められます。現在、日本建築学会の「建築基礎構造設計指針」の改定に向けて議論されている基礎の余裕度等の話題や、具体的に検討した事例を紹介します。

午後

G2-3 日本はPFAS対策の失われた15年を取り戻せるか？[Day 1]

聴講無料
事前申込制

13:00～16:00

東2ホール内 セミナー会場 G2

本セミナーではダイオキシン国際会議(イタリア)とオンラインで中継し、世界最先端のPFAS対策技術の紹介を行う。PerfluoroAD+やSmoldering等世界標準技術と比較し「会場で紹介されている技術が国際競争力があるかどうか」自身の目で確認してもらいたい。また日本がPFAS管理標準技術を世界に提案するチャンスである「SMART-PFAS」や「Eight Days of PFAS：CAR-PFASつくば会議(9月19日・24日)」についても紹介する。

13:00～13:30 SMART-PFASとは何か？
(トヨタ自動車/CAR-PFAS協業プロジェクトについて)

PFAS対策技術コンソーシアム/産業技術総合研究所 山下 信義 氏

13:30～14:00 欧州SMART-PFAS/COAST-PFASプロジェクトについて

エーレブルー大学(スウェーデン) Leo Yueng 氏

14:00～14:30 廃棄物中PFASの完全分解は可能か？

ストックホルム条約コンサルタント Roland Weber 氏

14:30～15:00 土壌中PFAS挙動の物理化学的理解と応用

エーレブルー大学(スウェーデン) Welmoed Nauta 氏

15:00～15:30 Perfluoro AD+を用いた
高効率/低コストPFAS処理技術について

Cornelsen Groupe (ドイツ) Martin Cornelsen 氏

15:30～16:00 インドにおけるPFAS問題と対策技術

産業技術総合研究所 Dipa Lalwani 氏

9月17日(木)

午前

G2-4 日本はPFAS対策の失われた15年を取り戻せるか？[Day 2]

聴講無料
事前申込制

10:30～12:00

東2ホール内 セミナー会場 G2

本セミナーでは前日の講演に続き、世界最先端のPFAS対策技術の紹介を行う。PerfluoroAD+やSmoldering等世界標準技術と比較し「会場で紹介されている技術が国際競争力があるかどうか」自身の目で確認してもらいたい。また産総研に新たに設立された「PFAS Total Solutions」やPFAS対策技術コンソーシアム関連企業の取り組みについても紹介する。

10:30～11:00 PFAS分析技術の最新動向と「PFAS Total Solutions」-
総PFAS測定の信頼性評価とPFAS対応支援

産業技術総合研究所 谷保 佐知 氏

11:00～11:30 Smoldering技術を用いたPFASの完全熱分解技術

ノッティンガム大学 Tarek Rashwan 氏

11:30～12:00 国内PFAS対策最新技術の紹介

PFAS対策事業者

午前

F1-3 これからの土木を支える共創マネジメント

聴講無料
事前申込制

10:30～12:30

東2ホール内 セミナー会場 F1

主催：一般社団法人土木技術者女性の会

「(一社)土木技術者女性の会」は、土木の仕事に魅力を感じて40年以上の活動を継続している女性土木技術者の集まりです。近年、女性活躍は社会の持続可能性を支える人材戦略となっていますが、その魁と言えるでしょう。しかし、これからの土木界を支えるには、マイノリティである女性とマジョリティである男性が協働していくことが不可欠です。働きがいと働きやすさを両立する土木界の実現に向けて、土木にかかわるすべての方へドボジョたちが語ります。

10:30～10:35 総司会会・趣旨説明

(公社)日本技術士会東北部男女共同参画推進委員会 元委員長 渡邊 弘子 氏

10:35～11:35 第1部「女性活躍への取り組み例」

・土木技術者女性の会の紹介 (一社)土木技術者女性の会 副会長 深瀬 尚子 氏

・建設業界における女性連携の紹介 建設産業女性定着支援ネットワーク 幹事長 須田 久美子 氏

・土木の「変わらない原点」と「時代とともに進展する役割」 東京大学生産技術研究所 教授 桑野 玲子 氏

・「働きたい」をあきらめない～坑内労働規制見直しに向けた取り組み (公社)土木学会 DE委員会 坑内労働検討WGリーダー 阿部 友美 氏

11:40～12:20 第2部「パネルディスカッション」

パネリスト 深瀬 尚子 氏、桑野 玲子 氏、阿部 友美 氏

コーディネーター 須田 久美子 氏

12:20～12:30 質疑応答

午後

G2-5 第13回パイルフォーラム技術交流会

聴講無料
事前申込制

13:00～16:00

東2ホール内 セミナー会場 G2

「杭施工時の支持層確認方法」

主催：パイルフォーラム(株)

杭が支持層に届いていないことが原因で、構造物に沈下や傾斜が生じた結果、その是正のためには過大な費用や労力が必要となります。杭の先端が支持層に達していることを確認するために、地上まで搬出された支持地盤の土質を目視で確認する方法や、施工時の掘削抵抗から支持層到達を判断する方法が採られてきましたが、必ずしも万能な方法とは言えません。最近、杭の施工方法ごとに管理装置が開発され、試験杭で得られた情報から本杭の支持層到達を確認する手法が開発されてきました。支持層到達の確認は、施工中に直ちに行う必要があり、迅速な確認が要求されます。今回、各種の杭施工方法において開発された支持層管理装置とその適用方法を紹介いただき、装置や手法、施工時の応応性などについて議論を行いたいと思います。ふるってご参加くださるようご案内申し上げます。

※参加ご希望の方は先ず上記技術展に会場事前登録を頂いた後、同セミナーのお申込をwebサイトより行ってください

司 会

パイルフォーラム 桑原 文夫 氏

A 既製コンクリート杭

1) ジオマスター 三谷セキサン

2) 統合型管理装置 ジャパンパイル

3) 杭番人 大林組

4) Pile-ViMSys 日本ヒューム

B 場所打ちコンクリート杭

B1オールケーシング工法

5) 支持層管理装置PiRuler-GEO 大林組

6) 支持層管理装置NBKS 日本基礎建設協会

休 憩

B2アースドリル工法

7) 熊谷式アースドリル工法掘削抵抗測定技術 熊谷組

8) 支持層管理装置NEDS 日本基礎建設協会

9) PS検層を用いた支持層管理装置 鹿島建設

C 打込み杭

10) 中堀鋼管杭打設時の支持層確認 鹿島建設

D 討論

9月18日(金)

午後

G2-6 第17回「軟弱地盤の改良」技術講習会

聴講有料 6,000円(テキスト代を含む)
事前申込制

10:20～12:30

東2ホール内 セミナー会場 G2

主催：(株)総合土木研究所

世界でも有数の軟弱地盤国でかつ地震の多い我が国では、軟弱地盤の改良は常に建設工事における中心課題の一つであります。それだけに改良工法の発達も目覚ましいものがあり、多種多様の工法がそれぞれの目的と現場の条件に応じて選択的に使用されています。その中で固化系地盤改良工法は、軟弱な土壌をセメントや石灰などの固化材で化学的に固化させることで地盤強度を高める工法であり、改良効果が確実であることから沈下などの変形に対する制限が厳しい構造物に対する支持力補強や近接施工に伴う既設構造物の変形抑止などの重要インフラに対する液状化対策等々において広く用いられております。今回は固化系地盤改良の最新技術に関して経済性や施工の合理化を目指した施工機械、品質管理や品質判定に関する新技術を経験豊富な講師陣から学びます。

※参考資料として「基礎工」2026年4月号「固化系地盤改良の最新技術」を別売(1,980円)

10:20～11:00 最近の固化系地盤改良工法

東京都市大学 建築都市デザイン学部 教授 末政 直晃 氏

11:05～11:45 固化系地盤改良の品質管理

(一社)日本建設業連合会 地盤基礎専門部会 主査 浅香 美治 氏

11:50～12:30 固化系地盤改良工法の施工機械

(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 瀧本 英明 氏

(公務の都合により講師および講師順序が変更になることもあります)

※本講習会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。(CPD単位：2.0 教育分野：IL 認定番号：J5CE26-0431)

※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

申込先

総合土木研究所 https://www.kisoko.co.jp/conference/index.html

午後

G2-7 セメント系固化材の利活用セミナー

聴講無料
事前申込制

13:00～16:20

東2ホール内 セミナー会場 G2

主催：(一社)セメント協会

セメント系固化材を用いた地盤改良工法は、多種多様な施工機械も開発されて、液状化対策や地盤の安定対策、既設構造物の耐震補強技術などのさまざまな用途で用いられており、今やインフラ整備には必要不可欠な技術となっております。本セミナーでは、セメント系固化材について、その種類や固化原理、改良体の特性、適用事例などをご説明いたします。加えて、近年の豪雨災害の多発・激甚化を鑑み、河川から海岸にわたる水辺でのセメント系固化材の活用について、最新の技術情報を学識者によりご講演をいただきます。

13:00～14:00 セメント系固化材の基礎と改良地盤の安定性

(一社)セメント協会 セメント系固化材技術専門委員会 委員長 宮脇 賢司 氏

14:00～15:00 セメント固化処理技術が拓く港湾岸壁整備の新たな可能性

東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授 高橋 英紀 氏

15:00～16:00 セメント系固化材を用いた河川堤防強化の取組み

広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授 半井 健一郎 氏

集中豪雨の頻発化により河川堤防の決壊が多発しており、越水した場合でも粘り強い河川堤防が必要です。本講演では、セメント系固化材による堤防強化の効果について、模型実験および数値解析の結果をご紹介します。

16:00～16:20 質疑応答